

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・コンサートの前売券で完売するものが出てきている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・消費税増税の影響からほぼ脱却し、高額商品の動きが活発になっている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・8月後半から来店客数が徐々に増加しており、9月受注台数は増加した。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・8～9月は昨年より少し回復している。宿泊、宴会、ランチ等の客数も増えてきている。道後温泉でのイベント開催中の影響もあるだろうが、良くなっているという実感がある。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・客の引き合いは、3か月前よりは良くなっている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新機種の販売開始に伴い、市場が活性化している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新機種の発売に伴い、需要が伸びている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントを開催したことから、特に新規来場者が増えた。また、土地情報に関する問い合わせも増えている。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・従来の発想のイベントでは集客力が望めなくなった。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・消費税増税後は客単価が減少したままである。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・9月は天候も比較的安定し、連休と飛び石連休には人出が多かった。しかし、秋物商戦が非常に悪く、消費者の財布のひもはますます固くなっている。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	お客様の様子	・低単価の取扱商品が多いため、従来は単価にこだわる客は少なかった。しかし、最近は単価について聞かれたり、より低廉な商品を求められることが多くなってきている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・9月は物産展が堅調で中旬までは前年並みで推移していたが、後半の宝飾・絵画催事などが低調で高額品が苦戦。また婦人服を中心に衣料品の不振が続いており、4月の消費税増税以降、改善の兆しが見えてこない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・天候不順に関わらず、8月は一定数の来客数があったが、9月は客数が予想以上に伸びず、苦戦している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・売上高は対前年比プラスで推移している。来店客数は前年割れが続いており、青果物の価格上昇が要因となっている。
		スーパー（財務担当）	単価の動き	・単価上昇と客数微減の傾向が続いている。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・例年通り、年末前の一時的な節約モードに入っており、売上が落ちている。景気としては変化がないと判断する。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温の低下とともに来店客数が減少してきている。これは季節要因によるもので従来からの変化はない。
		衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・9月前半にイベントを集中させているため、客数は増えている。月末にかけて来客減を予想しており、前年を下回って着地しそうである。客単価も低下しており、厳しい状況が続いている。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・季節商材が売れても他部門が足を引っ張る形で、全体としては継続して低迷している。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税後は販売量が下がったままで推移している。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・天候、気温の変化によって販売量が大きく変化する。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・客単価は若干上がってきているが、客数がやや減少し、売上は前年並みの状態が続いている。	

	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・夏に来なかった客が、9月に入ってから若干戻ってきている。	
	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・9月は、8月の天候不順で落ち込んだ国内旅行需要もやや回復傾向であるが、海外旅行は円安の影響で申込が減っている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・四国遍路関連の乗客は少しずつ増えてきているが、一般客が増えない。	
	通信会社（支店長）	販売量の動き	・新商品の販売が開始されたが、昨年同時期と比較しても出足が鈍い。景気が良くなっているとは判断できない。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・客単価の低下、並びに来場者の減少が続いている。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・来店周期が少しずつ伸びる傾向にある。加えて単価を抑えたメニューに変わってきている。	
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・特に変わったことはない。	
やや悪くなっている	商店街（事務局長）	来客数の動き	・消費税増税を含めて、実感として物価は確実に上がっている。多くの人が所得の上昇を今後も望めないことを覚悟している。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・気に入った商品であれば少し予算をオーバーしても購入してもらえる。しかし、来客数が減少しているため、景気が良くなっているとは言えない。	
	スーパー（統括担当）	来客数の動き	・来客数が2～3%程度減っている。衝動買いはみられず、あらかじめ買物する店を決めるなど、選別が明らかなき動きがある。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・7月以降、売上は前年割れになっている。8月の天候不順の影響もあるが、購買力が低下している。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税の影響は、今後しばらく続くだろう。	
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・全体的に販売量が低調である。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・9月の売上は前月比7.4%減、3か月前比16.5%増、前年比5.4%減となった。8月はお盆レースの開催やSGの場外発売もあって、前月比増となったが、9月は大きなレースもなく減少に転じた。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・高単価メニューが少なくなってきている。	
悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・地方の景気は悪く、フランチャイズやチェーン店の外食産業は良いとしても、地元の飲食店は厳しいようだ。卸問屋からも良い話は聞かえてこない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・全体的に客足が悪い。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近では、再生エネルギー設備の受注がやや増えてきている。固定価格買取制度の買取価格が下落するのではないかと懸念もある。
		公認会計士	取引先の様子	・決算、月次の試算表等を見ると、前年比でやや改善されている企業が増えてきている。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費税増税により、良くなっているとは感じられない。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・主力造船会社との価格交渉において若干の値戻しはあったものの、受注・販売量は伸び悩んでいる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内受注状況は堅調である。海外向けは地域差はあるが、全体としては堅調である。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注件数、受注高とも少し増えている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業は順調に発注されている。今は昨年度からの繰越分の売上計上が一巡した段階で、現時点では数か月前と変わらない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず、受注が伸びない。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・景気を判断する要因が乏しい。
金融業（副支店長）		取引先の様子	・設備関連の資金需要が少なくなっている。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・乗用車販売店では、消費税増税後の反動で依然として前年割れが続いているようだ。地方の得意先も同じような状況で、広告費が抑制されている。	

	やや悪くなっている	輸送業（営業）	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末の繁忙期における輸送車輛の安定確保を狙い、早々に支払運賃の値上げを発表する同業者が現れた。景気低迷による取扱物量の低下を受け、減収の著しい同業者の中には老朽化車輛代替等の車輛投資を控え減車するところも出始めている。繁忙期にかけて需要と供給のバランスが保てない状態になりつつある。</li> </ul>
		通信業（総務担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注量は、今年度に入ってから、全国的には堅調であるものの、理由は分からないが徳島県だけが非常に不調である。</li> </ul>
	悪くなっている	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある企業は原料の投入を毎月1週間ストップし、生産調整をしている。また、円安の影響で原料価格が高騰し、原料の輸入量が激減している。</li> </ul>
雇用 関連  (四国)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣就業を希望する求職者数に大きな変化はない。</li> </ul>
		人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年末に向けて人材確保や人材の補充要員を計画するものの、求人を出しても人材が集まらない状況が続いている。現状の社員に負荷をかけている状況。企業からは、景気が良いと実感できないとの声をよく聞く。</li> </ul>
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数は増加傾向にあるが、求職者の数が少なく就労に繋がらない。</li> </ul>
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人は採用が厳しい介護・看護、製造業の現場職に多い。実質の求人数は3か月前と比べて減っている。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依然として企業の採用意欲は高く、求人も前年に比べて上昇している。</li> </ul>
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用者数については、新卒・中途採用を含め、積極的に増員しようとする企業は少ない。中途採用については、あくまで欠員補充が圧倒的に多い。ただし、福祉・介護関係のように積極的に採用姿勢を見せている業種もある。</li> </ul>
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町中を見ても新しい店も建築されておらず、広告宣伝活動でも折込みやイベントが極度に落ち込んでおり、経営者は非常に慎重になっている。</li> </ul>
		職業安定所（職員）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月の月間有効求人倍率は1.02倍で、3か月前より0.01ポイント減少している。</li> </ul>
	悪くなっている	-	-	-